

## 令和6年度 指定管理業務 実績評価シート

基本様式

作成年月日 令和7年6月24日

部課名 健康こども部スポーツ局スポーツ振興課

施設名	弘前市運動公園(G20)
施設の設置目的	市民一人一人の健康増進と体力づくりのため、児童・生徒から高齢者まで各世代にあった各種競技スポーツ及び生涯スポーツとして軽スポーツ・レクリエーションスポーツの普及・推進を図るため設置したものである。
所在地	弘前市大字豊田二丁目3番地
指定管理者名	公益財団法人弘前市スポーツ協会
指定期間	令和6年4月1日から令和11年3月31日
<b>1 事業計画の実施状況</b>	
施設の設置目的を理解し、協定書、管理業務基準書及び事業計画書に基づいて、概ね計画通りに実施されている。施設の維持管理については、職員間の情報共有や他指定管理施設との連携により適正な管理運営を実施している。	
<b>2 自主事業の実施状況</b>	
弘前市の防災拠点としての役割を広く周知するため、「はるか夢防災フェスタ」を「バッティングセンター」と連携して開催し、防災月間(9月)に合わせて展示コーナーも設置されていた。また、野球場の人工芝を活用した「フィールドナイトヨガ」や、降雪期における施設の有効活用および冬季の運動不足解消を目的とした「フィットネス教室」を各諸室にて実施していた。さらに「冬の球場アート」を開催し、内容を毎年少しずつ充実させながら、弘前の冬の定番イベントとして定着させるべく取り組んでいた。加えて、陸上競技場の室内走路の無料開放を継続するとともに、テニス用品やスポーツドリンク、氷、カイロ等の販売、利用者ニーズに応じた自動販売機の設置を進め、利便性の向上にも努めていた。	
<b>3 市民サービス向上のための取組状況</b>	
ウルトラマラソンや女子ラグビーなど多様化する利用に合わせ、施設のメンテナンスを実施し、衛生管理にも努めていた。パンフレット、月間予定表、ホームページ、SNS(Facebook)、館内掲示物を随時更新し、情報提供を行っていた。また、災害級の大雪や豪雪といった自然災害に対しても、運動公園・克雪トレ・武道館との一体的な管理体制のもとで連携を強化し、園内および施設の利用者に支障が出ないよう、必要な労務や除雪作業を効率的に実施していた。加えて、救命講習や施設の維持管理に資する講習会や視察には、積極的にスタッフを派遣し、知識・技術の向上に努めていた。	
<b>4 市民ニーズの把握の実施状況</b>	
アンケート実施のほか、施設に設置した意見箱、ホームページ、SNS(Facebook)での問い合わせなどをを行い、様々な媒体から利用者ニーズを把握することに努めていた。	

## 5 施設の利用状況（利用者数、稼働率など）

利用団体数7,374件（前年比85.6%）、利用人数251,376人（前年比122.5%）、使用料17,149,418円（前年比102.1%）

雪解けが早く、4月早々から屋外施設の利用が例年よりも早期に開始されたこと（克雪トレは減）に加え、7月は「プロ野球ウィーク」として、一軍・二軍の試合が開催され、一般利用の人数増加につながった。しかし、9月に大雨被害により克雪トレーニングセンターが浸水し、貸出に影響があったことに加え、陸上競技場は改修工事のため貸出を終了。11月からはライフル会場整備に伴い、運動広場の貸出も終了した。1・2月期は、豪雪の影響によりキャンセルが増加。克雪トレーニングセンターの温水ポンプ不調による利用制限も、利用者数に影響している。

## 6 指定管理業務の収支状況

再委託業務仕様内容の変更(必要度の査定及び近似業務の統一化)、計画的な修繕実施計画、計画的な経費執行等により、施設の管理に支障が無いように、計画的な予算執行に努めていた。一方で、最低賃金の改定等に伴う人件費の上昇や、再委託契約における契約事業者の基本単価の引き上げにより、支出負担は増加傾向にある。

## 7 実地調査の結果

施設の維持管理・運営は概ね適正に実施されている。

## 8 成果指標の達成度

### <弘前市運動公園野球場>

利用件数:目標	391件	実績	1,548件	達成率	396%
利用人数:目標	61,217人	実績	81,415人	達成率	133%

### <弘前市運動公園庭球場>

利用件数:目標	7,016件	実績	3,974件	達成率	57%
利用人数:目標	57,562人	実績	46,960人	達成率	82%

### <弘前市運動公園球技場>

利用件数:目標	90件	実績	611件	達成率	679%
利用人数:目標	31,807人	実績	37,194人	達成率	117%

### <弘前市運動公園陸上競技場>

利用件数:目標	68件	実績	64件	達成率	94%
利用人数:目標	57,402人	実績	38,038人	達成率	66%

### <弘前市運動公園運動広場>

利用件数:目標	287件	実績	136件	達成率	47%
利用人数:目標	18,559人	実績	7,839人	達成率	42%

### <弘前克雪トレーニングセンター>

利用件数:目標	1,564件	実績	1,013件	達成率	65%
利用人数:目標	109,338人	実績	35,319人	達成率	32%

### <弘前市運動公園全施設>

利用件数:目標	7,871件	実績	6,361件	達成率	81%
利用人数:目標	233,481人	実績	216,744人	達成率	93%

### <弘前市運動公園グループ全体(運動公園全施設+克雪トレーニングセンター)>

利用件数:目標	9,435件	実績	7,374件	達成率	78%
利用人数:目標	342,819人	実績	252,063人	達成率	74%

## 9 評価

### (1) 指定管理者の自己評価

評価区分	評価	評価の説明	今後の課題と対応
施設の運営	B	毎日の基本業務を適切に遂行しつつ、降雪状況に応じて12月中旬まで屋外施設の貸出を継続するなど、可能な範囲で利用者ニーズに即した柔軟な施設運営に努めました。また、必要な業務報告についても、遅滞なく適切に実施しました。	使用料の取り扱い等について、コンプライアンスを徹底させるための定期的な内部監査や職員指導の継続。 生活(運動)習慣や利用者が求める多様な利用方法に柔軟に対応できるような知識(人)と財源の確保。
施設の管理	B	維持管理の水準を確保しつつ、利用者の安全を最優先に緊急時(災害)対応に努めるとともに、個人情報・文書・備品等の適切な管理を実施しました。	
経理の状況	C	指定管理料については、長期的な執行計画に基づき適正な執行に努めましたが、最低賃金の改定等に伴う人件費のベースアップには十分に対応できておりらず、課題が残る結果となりました。	人件費に加え、施設の老朽化に伴い、指定管理料の範囲内の修繕執行計画が必要。
団体の財務状況	B		組織全体のより具体的な長期的財務執行計画の構築が必要。

### (2) 市の指定管理者に対する評価

評価区分	評価	評価の説明	今後の課題と対応
施設の運営	B	降雪状況に応じて屋外施設の貸出期間を延長するなど、利用者ニーズに即した適正な施設運営を行っている。	職員の資質向上と利用者ニーズの把握を図り、適正な施設運営と地域に密着した自主事業の展開などに期待する。
施設の管理	A	適性な施設管理に加え、通常、専門の業者に委託しなければ対応できない業務を職員自ら資格を取得し対応するなど、快適な施設環境作りと安全対策や緊急時対策を図っている。また個人情報や文書等の管理も適切に管理している。	長期的な視点での施設設備品類の老朽化に伴う安全管理を進めていただく。
経理の状況	B	収支状況、経費の削減、帳簿等の整備・保管について、概ね適正に実施している。	人件費の見直し及び自主事業等による収入増の工夫が必要である。
団体の財務状況	B	安定した経理的基盤を有している。	今後も安定した財務状況を維持していただく。

### 【評価の視点】

評価区分	評価の視点
施設の運営	法令等の遵守、使用許可、市の指定事業、付随業務、自主事業、公平性、職員配置・研修、開館時間・休館日、職員の接遇、利用者ニーズの把握・反映、事業計画の実施状況、業務報告など
施設の管理	利用者の安全対策、施設・設備の維持管理、個人情報の管理、文書等の管理、備品等の管理、緊急時対策、災害対策など
経理の状況	帳票等の整備、経理の区分、収支状況、経費の削減、帳簿等の保管状況など
団体の財務状況	安定的な施設の管理が可能な経理的基盤を有しているか

### 【評価の基準】

A	協定書・基準書等の内容を超える管理運営が行われたと判断できるもの (適正な管理運営に加えて、更なる取組みや成果があると評価できるもの)
B	協定書・基準書等の内容を概ね適正に実施していると判断できるもの (軽微な改善点はあったが、速やかに改善されているもの)
C	協定書等の内容に対して改善点はあったが、適切な改善策が講じられているもの
D	協定書等の内容に対して不履行があるものや、改善がなされていないものがあるもの

※「団体の財務状況」の評価基準

B	問題がない
C	今後に注意を要する
D	早急な改善を要する